

玉名の遺跡
シリーズ④

おおばるいせき 大原遺跡

【お問い合わせ】

玉名市教育委員会
文化課文化財係

TEL:0968-75-1136
bunka@city.tamana.lg.jp

～市道岱明玉名線建設に伴う発掘調査～

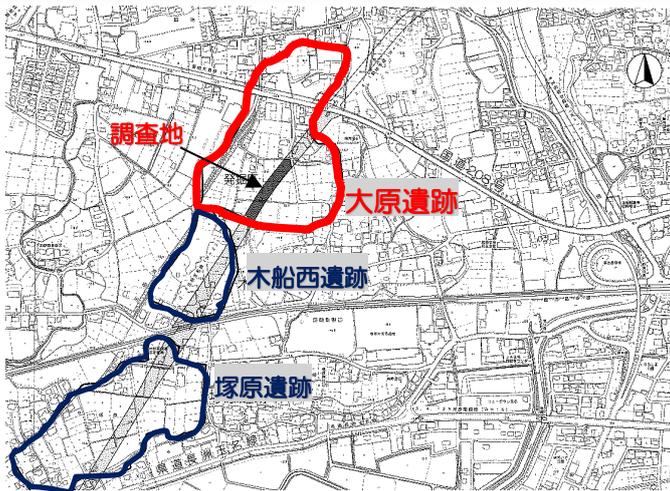
有明海沿岸の拠点集落には
他地域との交流の証があった…



大原遺跡

- 調査地：玉名市岱明町野口字大原
- 調査期間：平成24年5月～平成26年5月
- 調査面積：3100㎡

大原遺跡は、菊池川右岸の台地上に位置しています。隣接する木船西遺跡や塚原遺跡も含め、弥生時代中期から古墳時代初頭にかけて繁栄した菊池川最下流域の拠点集落と考えられます。発掘調査では弥生時代後期の竪穴建物跡を中心とした多数の遺構と多量の遺物（土器・鉄製品等）が出土し、その中には、他地域との交流を示す遺物も含まれていました。



【主な遺構】

- 竪穴建物跡：128棟
- 掘立柱建物跡：6棟
- 土坑：40基
- 溝：7条
- 小穴多数

■土器・土製品



グラス形土器

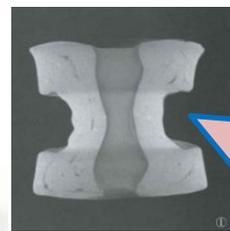


◀平底の土器

北部九州との
交流を示す土
器です。



器台状土製品



謎の土製品！
×線写真で見ると、中が空洞で用途が不明です。



器台状土製品



◀透かしがある土器

島原半島など有明海沿岸地域との交流を示す土器です。



土器片から発見された
アリの圧痕！



■青銅製品



小型仿製鏡



仿製鏡 (破鏡)



船載鏡 (破鏡)



船載鏡 (破鏡)



板状銅製品



銅鏃

仿製鏡や銅鏃は、福岡平野（須玖遺跡周辺）で製作された可能性が高く、破鏡も含め北部九州からもたらされたと考えられています。また、鏡はいずれも竪穴建物跡へ廃棄されるように出土していることから、弥生時代から古墳時代への転換過程を考えるうえでも重要な意味をもっていると考えられています。

※仿製鏡…国内で作られた鏡

※船載鏡…中国で作られた鏡

■石製品・鉄製品など



今山産石斧



今山産石斧とは？

福岡市西区の今山遺跡で作られた玄武岩製の石斧。熊本県中部が流通範囲の南限とされ、今回、科学分析によって、改めて今山産ということが証明されたんじゃ！



砥石

使用痕

北部九州から搬入された砥石で、阿蘇の遺跡からも多く出土しています。



鋤先など

鉄斧

摘鎌など

ヤリガンナ

鉄鏃

鉄製品の出土量や砥石の使用痕に加えて、小型の工具、鉄製品の裁断片も出土していることから、大原遺跡において鉄製品の生産が行われていた可能性もあります。



石製品・ガラス製品

新潟県（糸魚川）産のヒスイを使用した勾玉です。

出雲地方産の石材を使用した管玉です。



ガラス製の勾玉



ガラス小玉

ガラス製の勾玉は、県内でも出土例が少なく大変貴重です。ガラス小玉は2~5mmと小さく、全部で42点出土しています。